

青森県男女共同参画センター及び青森県子ども家庭支援センター (アピオあおもり) の管理運営状況

(平成30年度～令和元年度指定期間評価)

県所管課	環境生活部青少年・男女共同参画課 健康福祉部こどもみらい課
指定管理者	青森コミュニティビジネス株式会社
指定期間	平成30年4月1日～令和3年3月31日

1 管理業務の実施状況

(1) 青森県男女共同参画センター

業務区分	概要
総合相談事業	女性が直面している問題に対し、電話及び面接相談により、解決に向けた支援を行った。また、相談事業の一環としてDV相談・支援者向け講座等を実施した。
学習・人材育成事業	ウィメンズアカデミーを、働く女性リーダーコース（青森市）及び地域女性リーダーコース（H30：弘前市、八戸市、R1：外ヶ浜町、大間町）の2コース開催した。
普及啓発事業	男女共同参画フェスティバル（アピオあおもり秋まつり）を開催した。
活動支援事業	県内6地域に構築した男女共同参画ネットワーク組織において、地域の特色を活かした男女共同参画の学習会等の開催の支援等を行った。
調査研究事業	地域で活動する男女共同参画に関する団体について、情報を集約し、リスト作成を行った。
情報提供事業	男女共同参画を推進するための情報を収集、蓄積、提供する情報ライブラリーについて、購入図書を選定やテーマ展示、出前貸出等の工夫を行った。 男女共同参画の視点に立った情報誌を年2回発行した。
防災対策事業	地域における男女共同参画の視点を取り入れた防災体制づくりに向け、市町村、自治会等の研修会等へ講師を派遣した。

(2) 青森県子ども家庭支援センター

業務区分	概要
情報提供事業	ホームページの運営等により、子どもと家庭に関する情報提供を行った。また、子育て支援に関する情報啓発情報誌を発行したほか、あおもり子育て応援わくわく店の登録、パスポートの発行及び情報発信等事務を行った。
活動支援事業	県内の地域子育て支援拠点関係者を対象に、子育て支援の連携強化を目的とした研修や実技向上のための講習会を開催した。
総合相談事業	結婚、妊娠、出産、子育ての悩みや子どもの問題など、子どもと家庭に関する様々な相談を電話及び面接で受け付け、支援を行った。
学習体験事業	児童図書室では、乳幼児から小学校低学年を対象とした児童図書やビデオ等の貸出を行った。また、親子のスキンシップを目的とした体験活動を実施したほか、児童福祉週間には子どもと子育てに関する複合的なイベントを開催した。
普及・啓発事業	社会全体で子育てすることの重要性を学ぶ機会を設け、子育て関連団体と協働し、講演会やワークショップ等を実施した。
調査・研究事業	のびのびあおもり子育てプラン推進に資するべく、平成30年度は「あおもり子育て応援パスポート事業に関する調査」、令和元年度は「子育てサークル実態調査」を実施した。また、業務ニーズ調査を実施し、今後の子育て支援施策の参考とするため報告書を作成した。

2 管理施設の利用状況

(1) 青森県男女共同参画センター及び青森県子ども家庭支援センター

利用指標	年度	計画	実績	計画対比	前年度対比
貸館利用者数	H30	85,000人	74,839人	88.0%	98.2%
	R1	85,000人	59,019人	69.4%	78.9%
	平均	85,000人	66,929人	78.7%	
	H29 (参考)	85,000人	76,233人	89.7%	94.0%
施設使用件数	H30	3,000件	2,910件	97.0%	96.6%
	R1	3,000件	2,479件	82.6%	85.2%
	平均	3,000件	2694.5件	89.8%	
	H29 (参考)	3,000件	3,013件	100.4%	101.3%

(2) 青森県男女共同参画センター

利用指標	年度	計画	実績	計画対比	前年度対比
地域ネットワーク活動支援事業企画運営	H30	県内6箇所を実施	県内6箇所を実施	—	—
	R1	県内6箇所を実施	県内6箇所を実施	—	—
	平均	県内6箇所を実施	県内6箇所を実施	—	—
	H29 (参考)	県内6箇所を実施	県内6箇所を実施	—	—
情報ライブラリー貸出件数	H30	11,000件	10,034件	91.2%	97.2%
	R1	11,000件	10,933件	99.4%	109.0%
	平均	11,000件	10,483.5件	95.3%	
	H29 (参考)	11,000件	10,327件	93.9%	101.6%
情報誌読者アンケート満足度	H30	5段階評価の4.1	4.1	100.0%	95.3%
	R1	5段階評価の4.1	4.1	100.0%	100.0%
	平均	5段階評価の4.1	4.1	100.0%	
	H29 (参考)	5段階評価の4.1	4.3	104.9%	103.6%

(3) 青森県子ども家庭支援センター

利用指標	年度	計画	実績	計画対比	前年度対比
情報誌活用度	H30	5段階評価の4.1	4.1	100.0%	95.3%
	R1	5段階評価の4.1	4.2	102.4%	102.4%
	平均	5段階評価の4.1	4.15	101.2%	
	H29 (参考)	5段階評価の4.1	4.3	104.9%	102.4%
手作りおもちゃ講習会参加者	H30	150人	178人	118.7%	100.0%
	R1	170人	144人	84.7%	80.9%
	平均	160人	161人	100.6%	
	H29 (参考)	150人	178人	118.7%	106.0%

利用指標	年 度	計 画	実 績	計画対比	前年度対比
親子・次世代育成 すくすくスキン シップ参加者	H30	親子向け 募集定員の100% (80人) 指導者向け 募集定員の100% (80人)	親子向け 68人 指導者向け 65人	親子向け 85.0% 指導者向け 81.3%	親子向け 23.2% 指導者向け 209.7%
	R1	親子向け 募集定員の100% (親子50組) ※100人想定 指導者向け 募集定員の100% (60人)	親子向け 47組 ※147人 指導者向け 58人	親子向け 94.0% 指導者向け 96.7%	親子向け 216.2% ※人数で対比 指導者向け 89.2%
	平均	親子向け 募集定員の100% (90人) 指導者向け 募集定員の100% (70人)	親子向け 107.5人 指導者向け 61.5人	親子向け 119.4% 指導者向け 87.9%	
	H29 (参考)	親子向け 募集定員の100% (220人) 指導者向け 募集定員の100% (40人)	親子向け 293人 指導者向け 31人	親子向け 133.2% 指導者向け 77.5%	親子向け 89.1% 指導者向け 28.4%
	子育て広場参加 者	H30	募集定員の100% (200人)	212人	106.0%
	R1	募集定員の100% (100人)	111人	111.0%	52.4%
	平均	募集定員の100% (150人)	161.5人	107.7%	
	H29 (参考)	募集定員の100% (150人)	73人	48.7%	73.7%

【増減理由】

・貸館利用者数、施設利用件数について

施設の利用件数が減少傾向にあり、貸館利用者数についても利用1件当たりの利用者数が減少したことから、各年度ともに前年度から減少し、目標値に達しなかった。

・地域ネットワーク活動支援事業、情報誌読者アンケート満足度について

県・市町村・男女共同参画団体等で県内6地域に構築した男女共同参画ネットワーク組織を活用し、地域の男女共同参画の学習会等の開催を支援した。情報誌読者アンケートについても、例年並みの評価を得た。

・親子すくすくスキンシップ参加者数

親子のスキンシップを目的とした体験活動を実施したほか、子育て支援関係者の資質向上を図る研修として内容充実を図った。計画目標値に近い参加人数となったが、達成することはできなかったため、今後も内容の充実と効果的な周知に努め、参加者の増加につなげる必要がある。

・子育て広場参加者数

講演会を家族や男性の参加しやすい内容とし、子ども向けのワークショップを同時開催するなど実施の形態を工夫したほか、講師選定においても知名度のある講師を選定するなどしたことにより、計画目標値を達成することができた。

3 評価結果（平成30年度・令和元年度の評価）

評価項目	指定管理者 自己評価	県所管課	
		評価	コメント
①サービスの維持・向上に向けた取組が適切に行われているか。	3	3	全職員をローテーション勤務とし、業務水準書等に掲げる業務を適正に実施している職員マナーについては日常の注意喚起のほかに、利用者の意見・苦情把握に努め、サービスの維持・向上に向けた取組が適切に行われている。
②利用促進に向けた取組が適切に行われているか。	3	3	館内における催事案内表示や、ホームページにおいて施設の予約状況を情報提供しているほか携帯サイトやスタッフブログにより、利用情報提供の利便性向上に向けて取り組んでいる。
③施設、設備及び備品の維持管理及び修繕が適切に行われているか。	3	3	建物、設備の維持管理や清掃業務を適正に実施するとともに、必要に応じて修繕等の措置をとり利用者の利便性と安全性が確保されている。また、備品管理については日常点検・確認を実施している。
④緊急時の対応・安全管理などの危機管理が適切に行われているか。	3	3	基本協定書の規定を遵守すべく、随時職員の教育の徹底を行っている。また、防災マニュアルを改訂し、来館者への注意事項を示した簡易マニュアルを整備しているほか、緊急連絡系統図の周知徹底を図っている。なお、消防訓練も実施している。
⑤指定管理料が適正に執行されているか。	3	2	両センターの事業は事業計画に基づき実施されているほか、管理標準を定め、光熱水費等の無駄の削減、経費節減に努めており、必要な修繕の早期対応に努めているが、平成30年度において指定管理料の執行について、一部改善を要した。
⑥成果目標達成のための努力が行われ、成果が上がっているか。	3	3	一部達成できなかった指標項目があるものの、成果目標達成のための努力が行われている。
⑦その他法令等を遵守した管理運営が行われているか。	3	3	労働法令を遵守している。また、個人情報保護の重要性を踏まえ、職員への周知を徹底しており、苦情等の問題が発生していない。
総合評価	3	2	おおむね業務水準書等の内容が満たされているが、一部改善を要する。

○評価基準

- 5（秀）：業務水準書等の内容を上回り、特筆すべき実績をあげている。
- 4（優）：業務水準書等の内容を上回り、優れた実績をあげている。
- 3（良）：業務水準書等の内容が満たされている。
- 2（可）：業務水準書等の内容が満たされず、一部改善を要する。
- 1（不可）：業務水準書等の内容が満たされず、重大な改善を要する。